

令和7年度予算・税制等に関する要望



10～11月にかけて、次年度の予算・税制改正に関する要望書を各党に提出しました。11月18日には自民党の会議に出席し、議員に要望内容を直接説明しました。トラスト活動という民間等による公益活動が全国でさらに促進されるよう、トラスト地にかかる固定資産税等の非課税措置の創設など4点を要望しました。

法政大学セミナーに登壇



12月14日に開催された法政大学大学院まちづくり都市政策セミナーの分科会「生物多様性政策と都市環境」に当協会スタッフが参加し、地域の自然を守るトラスト活動を推進してきた立場からコメントしました。

経団連の交流会に参加



12月3日に開催された、経団連

自然保護協議会が主催する「企業とNGOの交流会」に参加し、ポスター展示を行いました。当日は多くの企業の方から声をかけていただき、協会の活動をアピールするよい機会となりました。

寄稿



11月4日の観光経済新聞「声 VOICE」のコーナーに、当協会の寄稿文が掲載されました。自然や野生生物を観光資源として活用する観光関係者の皆様に、観光業の基盤となっている自然資源を確実に守っていくため、トラスト活動への参加と支援を呼びかけました。

フリーウィルズキャンペーンのご案内



当協会は、皆様の大切な財産を将来世代のために贈る遺贈の受け入れを、様々な団体と連携して進めています。(一社)日本承継寄付協会が実施する、遺言書作成に助成金(10万円)を提供する「フリーウィルズキャンペーン」もそのひとつです。寄付額が10万円以上の

遺言書の作成が対象となります。イギリスの取組を参考に日本初の施策として始まり、現在実施中のキャンペーンは3月末まで受付中です。

会員 Topics

(公財)鎌倉風致保存会が、今年度、設立60周年を迎えました。日本で最初にナショナル・トラスト活動が始まった場所です。

(公財)天神崎の自然を大切にする会は、昨秋、活動開始50周年を記念して、記念誌(自然編・歴史編)を発行しました。



(一財)世田谷トラストまちづくりが、武蔵野台地における「雨にわ」によるNbSの普及・実証事業で、第5回グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」を受賞しました。

公益社団法人
日本ナショナル・トラスト協会

〒171-0021
東京都豊島区西池袋2-30-20 音羽ビル
Tel.03-5979-8031
Fax.03-5979-8032

2025年2月発行 禁無断転載

ナショナル・トラスト

高品山ブッポウソウの森トラストを取得

第20期 ナショナル・トラスト活動助成 助成先決定
全国大会を開催しました

ニュースレター 2025
NEWS LETTER 2025 WINTER

冬号

ブッポウソウ

広島・三次市内の森林で全国60カ所目となるトラスト地

National Trust
New Area

「高品山ブッポウソウの森トラスト」を取得

この度、広島県三次市に約12ヘクタールのトラスト地を新たに取得しました。広島県での土地の取得は初めてです。

今回取得した土地は、広島県内にお住いの方より、先祖代々引き継いできた森を託したいとの思いから贈与いただきました。

高品山周辺に広がるこの森は、美しい羽毛を持つ鳥、ブッポウソウなど多くの野鳥のすみかとなっていることから、「高品山ブッポウソウの森トラスト」と名付けました。今後は、多くの野鳥が飛び交うこの場所を、森のまま大切に守っていきます。



高品山ブッポウソウの森トラスト

所在地: 広島県三次市甲奴町
地目: 保安林、原野、山林
面積: 117,002㎡
取得日: 2024年11月14日
取得方法: 贈与

寄付者のメッセージ

私の故郷は中国山地の農村です。付近の里山はブッポウソウの生息地で、近くの巣箱では雛が巣立っています。オオルリ、キビタキ、サンコウチョウの鳴き声が聞こえることもあります。豊かな生態系の故郷の自然を永続的に守っていくために寄付することにしました。ナショナル・トラスト活動への支援が拡がることを願っています。



ムギマキ



ミヤマホオジロ



トラツグミ



トラスト地は奥に見えている森

トラスト地取得プロジェクト

当協会では、2007年から土地の取得を開始し、「トラスト地取得プロジェクト」を進めています。今回は60カ所目のトラスト地取得となり、トラスト地の面積の合計は1,753ヘクタールとなりました。

日本には、重要な自然や美しい風景を守るため、国立公園などの保護区制度があります。しかし、これらの制度で確実に守られている本来の自然は、国土のわずかしがなく、所有者が変わってしまえば開発

される可能性もあります。

当協会では土地を取得する際、所有者から土地を贈与していただく場合と、購入をする場合があります。今回は前者の贈与にあたります。こうした土地の取得やその後の維持管理には、皆様からご寄付いただいた資金が充てられます。例えば1,000円で、秩父の水源の森、約10㎡(6畳分)を買い取ることができます。

第20期



2000年から、霧多布湿原を開発等から守るため、湿原3,168haのうち、約1,160haの私有地を買い取り土地を取得

霧多布湿原ナショナルトラストに助成を決定

助成先: 認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト(北海道厚岸郡浜中町)
助成金額: 75万円
土地の所在地: 浜中町・霧多布湿原
土地の面積: 15,580㎡

認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストは、今期の助成金を活用し、11月に北海道浜中町にある霧多布湿原の一部1.5ヘクタールを購入しました。取得地は、霧多布湿原の南端部分にある多種多様な花々が咲く湿原ですが、住宅エリアや道路に近接し、太陽光パネル等の開発の危険性が高い場所です。土地の取得で、開発を未然に防ぎ、霧多布の原風景を未来の子どもたちに引き継ぐことができます。

当協会は2005年より、(公財)自然保護助成基金と共催で、希少な生きものの生息地や、豊かな自然を未来の子どもたちへ残していくため、助成を行っています。4月からは、第21期の募集を行います。ぜひ多くの団体の皆様に応募いただき、土地を確保する資金としてご活用ください。

募集開始次第、専用ページで詳細をお知らせします。助成先の事例も紹介しています。



お知らせ



全国大会を開催しました

第42回ナショナル・トラスト全国大会を、12月7日に東京都豊島区のIKE・Bizで開催しました。トラスト活動に取り組む皆様、活動に関心のある方々など約100名が参加し、盛況のうちに終えることができました。「進化する自然 ナショナル・トラストで守る」をテーマに、NHK「ダーウィンが来た!」の島山ディレクターから、自然番組のウラ側について、興味深いお話を聞くことができました。

また、トラスト団体からは阿蘇花野協会、トラストサルン釧路、埼玉県生態系保護協会の近況報告をしていただきました。次回も、皆様と有意義な交流や情報交換ができることを楽しみにしています。

*全国大会の報告書は、協会のウェブサイトでご覧いただけます